

基本情報



【年齢】
23歳
【出身地】
神奈川県横浜市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前職】
学生
【活動時期】
R3.10～ R6.10
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

大学生の時、青森に住んでいる友人に誘われ遊びに来たのをきっかけに津軽が大好きになりました。長期休暇がある度に津軽に足を運び、津軽で暮らしてみたいと思うようになりました。しかし、自分の興味のある求人が見つからず「青森で暮らすタイミングはまだかな」と思っていた矢先、中泊町を見つけました。主な仕事内容が外国人との交流、インバウンド対策と書いてあり、高校の時に留学した経験がこの町で活かそう、また、奥津軽ならではのディープな文化を楽しめそうだと思い応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

協力隊として2年目を迎え余裕が出来てきたため、より積極的に活動を行っていきたく思います。インバウンド対策に関しては冬には金多豆蔵人形劇、ストーブ列車を含めたモニターツアーを行い、外国人受け入れの準備を進めます。町内在住外国人ともより交流を深められるように日本語教室の定期開催、また町民との交流の機会もより、増やしていきたいと思っております。今後も活動を通して中泊町の魅力を世界に伝えていきたいと思っております。

活動内容

●インバウンド対策

海外からの旅行者を迎え入れられるようにインバウンド対策を行っています。小川三知の最高傑作と言われるステンドグラスが残る宮越家を中心に観光してもらえるように整備しています。右の写真が2022年9月には私がガイドを行い英語でモニターツアーを行った際の写真です。



●町内在住外国人との交流

中泊町に技能実習生として来ている外国人の生活をサポートしています。役場などで事務手続きが必要な際はやさしい日本語で案内を行います。日本語能力検定を受ける実習生に向けて勉強会を行ったり、町民との交流のために、郷土料理のしとぎ餅体験をしてお花見をする会を行いました。



●情報発信

中泊町文化観光協会のイベント情報、町の魅力をSNSで発信しています。中泊町に来る前に町のことを調べていてもあまり町の雰囲気わかる情報が少なかったため町民インタビューを行いnoteで発信しています。また自分が中泊町に住んでいて驚いたことなどを体験記として投稿しています。



「なんもねえ町」にも誇れるものを 宮越寛さん



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) nakadomariyouryokutai02@gmail.com

(電話番号) 0173-57-9030

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(Instagram) <https://www.instagram.com/nakadomari.tourism.info/>

(Twitter) https://twitter.com/nakadomari_info

(note) https://note.com/nakadomari_roman